

## 4. 5. 遠足

### I. 遠足の概要

実習前半3日間が終了した翌日の8月13日、学習者と実習生で常滑へ遠足に行った。遠足の目的は、クラスを越えて実習参加者が交流を深めることだった。遠足は自由参加だったが、参加率は高かった。

遠足の日程は次の通りである。

【表1】遠足日程

金山駅集合 (9:00)	
常滑着 2グループに分かれる	
<b>【Aクラス+Dクラス】</b>	<b>【Bクラス+Cクラス】</b>
陶芸体験	常滑焼き物の道散策
常滑焼き物の道散策	昼食
昼食	陶芸体験
2グループ合流し、焼き物の道散策	
常滑港よりフェリーに乗って中部国際空港へ	
中部国際空港にて解散 (16:00)	

参加人数が多く、一度に全員で陶芸を行うことができなかつたため、前半は2グループに分かれて行動した。

### II. 行き先の選定

遠足の行き先は、名古屋から大人数で日帰りで行ける場所、文化的なものに触れることができる場所という条件で候補地を挙げていき、事前アンケート結果を参考に実習生で相談して選定した。

行き先を常滑に決定した後、全員で常滑へ下見に行った。その際、陶芸教室をいくつか回って施設を確認し、大人数で体験できる場所を予約した。

### III. 学習者への連絡と参加費

遠足の実施についてはコース開始前にEメールで学習者に概要を知らせ、参加希望をとった。集合場所や時間は遠足前日にクラスごとに確認を徹底し、当日も連絡が取れるよう学習者の携帯電話番号を教えてもらった。

費用は、交通費のほか、昼食代、陶芸体験費がかかった。全て当日その場ごとに個人で会計を済ませた。

#### IV. 当日の状況

大きな問題は発生せず、無事に楽しい 1 日を過ごすことができた。しかし、非常に暑い日だったため、日中に外を歩き回るのは大変だった。

クラスによっては、他クラスの学習者や教師と交流できることを利用して、他クラスのメンバーと写真を撮る等のタスクを行っていた。

#### V. 学習者の感想

遠足に対する満足度、費用、時間について、コース終了時の事後アンケートで尋ねた。その結果、遠足はよかった、まあまあだったという感想がほとんどだった。よかった理由としては、名古屋以外の町に行けたこと、日本の古い地域を見ることができたこと、陶芸体験がおもしろかったといったものが挙げられた。よくなかった点には、暑い中歩かなければならなかったことが指摘された。

費用は、交通費、昼食代、陶芸体験費の合計で一人 4000 円程度かかったが、ほとんどの学習者が適切という回答だった。

時間は、朝から夕方まで 1 日かかったが、これについても適切だったという回答がほとんどだった。

#### VI. 遠足実施の留意点

今年度の実習はお盆休みを挟んでの日程で、遠足はそのお盆休み中に実施した。一般的な観光地はお盆に営業しているが、企業の工場見学は休みであることが多い。来年度以降も遠足を行う場合は、行き先と時期を併せて検討するとよい。

予約が必要な施設を利用する場合は、早目に人数を確定できるようにする。

<長谷川>